

カウントタクト(トリブケースソイ基礎) (中和剤含有) (CT) *For microbiological control only*

Count-Tact agar

環境における表面付着菌のモニタリング

43501 平板培地 20 枚(55mm)

貯蔵法

2-8°C

組成(g/l)

カゼインペプトン(牛)	15
ソイペプトン	5
塩化ナトリウム	5
ソイレシチン	0.7
ポリソルベート 80(Tween 80)	5
チオ硫酸ナトリウム 5 水和物	0.5
L-ヒスチジン	1
寒天	20.5
pH7.3	

原理

カウントタクトは病院、企業、公的機関などにおいて表面付着菌のモニタリング法や計画を制定・改定する際の、管理区域における重要管理点 (CCP) の検査用培地として推奨されています。

標準法 ISO14698-1 や、食品分野については ISO18593 および NF V 08-037 で本培地が推奨されています。

本培地は直径 55mm で、底に格子線があるシャーレを使用しています。培地表面は凸状になっており、壁、床、用具、作業者などの被検部位表面から直接サンプリングできます。エアースンプラーを用いた空中浮遊菌のサンプリングにも使用できます。

本培地は 4 種の中和剤を含有しています。これらが被検部位表面に残存している消毒薬を不活化するため、清掃前後の比較試験が可能です。

- レシチン、ポリソルベート 80、L-ヒスチジンの組み合わせにより、アルデヒドおよびフェノール化合物が中和されます。
- レシチン、ポリソルベート 80 の組み合わせにより、4 級アンモニウム化合物が中和されます。
- ポリソルベート 80 はヘキサクロロフェンおよび水銀化合物を中和します。
- チオ硫酸ナトリウムはハロゲン化合物を中和します。
- レシチンはクワルチンを中和します。

検体の採取法

検体採取頻度および測定部位数は微生物学的環境モニタリング計画あるいは社内や衛生施設で運営されている品質保証の方法に従って決定して下さい。

区域ごとに、少なくとも 1 検体を採取することをお勧めします：

- 区域の入り口
- 従業員が常在している区域
- まれに使用される区域

検体の収集は、乾いた表面から行って下さい。

使用法

- 培地を室温に戻します。

- 培地を直接被検部位表面にあて、確実に培地全体へ 500g の力を 10 秒間均等にかけます。検体採取の検査間再現性を実現するために、カウントタクトアプリケーターを使用して下さい(添付文書をご参照下さい)。
- 付着した培地成分を除去するため、検体を採取した表面を清浄して下さい。
- 下記の表に従い培養して下さい。

被検菌	培養条件
中温菌 (環境菌あるいは ヒト由来)	25 ±1 または 30 ±1 で 68 時間 ± 4 時間、その後必要に応じて室温で明るい場所で 3 日間培養
酵母様真菌 およびカビ	25 ±1 で少なくとも 7 日間培養

注意: シャーレは正しい方向を上にして培養して下さい(フタが上)。

注意:

- 上記ステップ 2 の後、カウントタクトを検体収集区域から実験室へ安全に移動するため、バイボックスをご使用になることをお勧めします。
- シャーレはバイボックスに入れた状態で培養できます。

判定

培養後コロニーを数えます。

培地の表面積は 25cm² です。

検査室ごとに独自の検査計画を確立し、危険度に応じて結果を判定して下さい。

下記に例を示します。

*食品会社:

冷蔵食品に接触する面に関する推奨例

食品接触面の微生物数	判定
< 1/cm ²	最良
2-10/cm ²	良
11-100/cm ²	速やかに表面を清浄にする
> 100/cm ²	製造ラインを止め、汚染の原因を特定する

被検区域の危険度に応じた許容基準例:

危険度	25cm ² あたりのコロニー数(*)	100cm ² あたりのコロニー数
4	< 5	10
3	< 5	100
2	< 50	1000
1	< 125	> 1000

危険度:

- 非常に低い: 1
- 中程度: 2
- 高い: 3
- 非常に高い: 4

***医薬品製造のための GMP による判定/BPF
Européennes «Fabrication des médicaments
stériles »(01/97)**

グレード	CFU/55mm シャーレ
A	< 1
B	5
C	25
D	50

使用上の注意

- 無菌操作および細菌を取扱う上で必要な注意事項に留意して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 検体、培養物などは全て感染の可能性があるものとして取り扱いには充分ご注意下さい。安全ガイドライン：“NCCLS M-29A, Protection of Laboratory Workers from Instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guideline – Current revision” 操作留意事項“Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH – Latest edition”または各国の最新のガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- 包装の破損している製品は使用しないで下さい。
- コタミしている、または水分の浸出している培地は使用しないで下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

留意事項

- 微生物の回収の度合いは、被検部位の特性およびその粘着特性によります。本培地は表面付着菌のモニタリングにおける定性的手法です。微生物検体には「ぶれ」が不可避であることを考慮し、常に同じ採取法を実施することが重要です。
- 培地に含まれる抗菌活性中和剤は、消毒剤や通常の防腐剤を含む検体からの微生物の検出を可能にする目的で採用されています。市場には様々な消毒剤や防腐剤が出回っていますので、本培地がお使いのものを効果的に中和するかご確認下さい。

参考文献

1. DESBORDES J. - Biodégradation microbienne des antiseptiques et conservateurs. - *Rev. Institut Pasteur de Lyon*, 1977, vol. 10, n°4, p. 291-311
2. HALL L.B., HARTNETT M.J. - Measurement of the bacterial contamination on surfaces in hospitals. *Public Health Rep.*, 1964, Vol. 79, p. 1021-1024.

3. PRYOR A.K., MC DUFF C.R. - A practical microbial surveillance system. - *Executive Housekeeper*; 1969, Mars 1-4.
4. SNYDER O.P. - Derived overall Microbiological Standards for Chilled Food Processes Diary. - *Food and Environmental Sanitation*, octobre 1992, p. 687-688
5. « Guide du bionettoyage ». Journal Officiel de la République Française. Recommandations n° E 1-90 (1991), chapitres 5 et 6.
6. GMP for pharmaceutical products / BPF Européennes « Fabrication des médicaments stériles » (01/97).
7. Norme ISO 14698-1 (2003) – Cleanrooms and associated controlled environments. Biocontamination Control. Part 1: General principles and methods.
8. Norme ISO 18593 (2004). Microbiology of food and animal feeding stuffs. Horizontal methods for sampling techniques from surfaces using contact plates and swabs.
9. Norme NF V 08-037 (2003). Microbiologie des aliments. Surfaces d'environnement agro alimentaire. Prélèvement d'échantillons destinés à l'analyse microbiologique.

廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ピオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ピオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile / France

Tel. (33) 04 78 87 20 00 / Fax (33) 04 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>